

氏名	白 石 昌 之		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1042 号		
学位授与の日付	昭和54年 6 月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	単個培養された二倍体性ラット肝細胞の3'-Me-DABによる 試験管内癌化		
論文審査委員	教授 小川 勝士	教授 妹尾左知丸	教授 小田 琢三

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

正二倍体性単個クローンを使用し、3'-Me-DABによる正常ラット肝細胞癌化の可能性を追求した。

- 1) 5 r/ml及び80 r/mlの濃度で3'-Me-DABを140日間 in vitro で連続添加により細胞の癌化を認めた。又、最短10日間、最長80日間の3'-Me-DAB処理後、3'-Me-DABを含まない正常培地に置き換えられた系でも癌化を認めた。対照群の in vitro 自然癌化は3'-Me-DAB 添加実験群の細胞系が殆んど癌化を完了する時点までは認められなかった。尚、癌化の確認は同系新生児ラットへの皮下移植による腫瘍形成の有無によって行われた。
- 2) 癌化過程における3'-Me-DAB 処理細胞の特性の変化としては、形態異常、染色体上の変化、3'-Me-DAB に対する耐性の獲得などが認められた。in vitro 癌化実験においてしばしば報告される増殖率の上昇、血清要求性については、対照群との間に差は認められなかった。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は正二倍体ラット肝細胞の単個クローン化を試み、3'-Me-DAB を添加し最短10日間、最長80日間の処理で発癌の起こることを明らかにしたものであるが、単個培養細胞について癌化を追求したことは試験管内発癌の研究に确实且重要な知見を加えたものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。